

ZabbixはOSSなのに機能充実

～活用すれば運用をもっと楽に～

クロス・ヘッド株式会社

須田俊介

自己紹介

名前

須田 俊介(すだ しゅんすけ)

所属

クロスヘッド株式会社 情報基盤第2技術部

職務

客先常駐先のZabbix技術担当者としての運用業務の改善

セールスエンジニアとして顧客の要望に沿ったZabbix監視設定の提案

例えば、

ネットワーク機器を監視をする際に

こんなことで困ったことはありませんか？

使っているポート、
使っていないポート
を1台1台確認しな
いといけないのか
な？

ポートごとにひとつ
ひとつ監視設定をす
るのって正直大変…

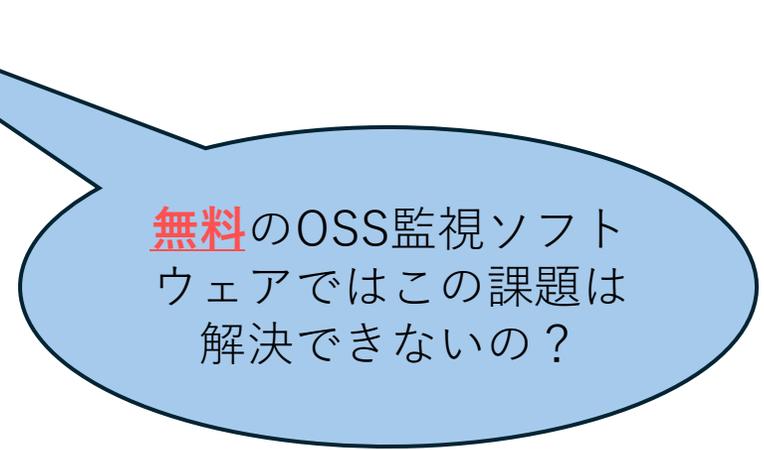
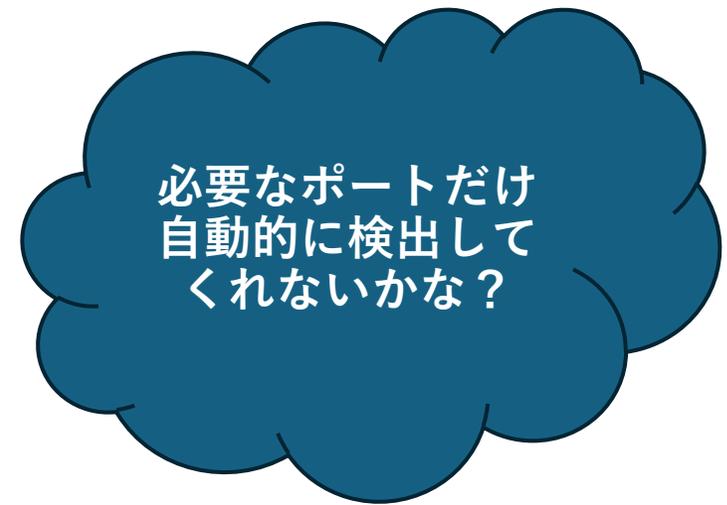
しかも…
運用中にNW構成が
変更されるし

構成変更されると、
その都度監視設定を
見直さないといけな
いし…

Switchのポー
トって数が多い…



シンドイデス…泣



デバイス自動検出機能を持つ
高機能な有料NW監視ソフトウェア
⋮
ライセンス費用が高額



そんなお客様のご要望にZabbixがお応えします。

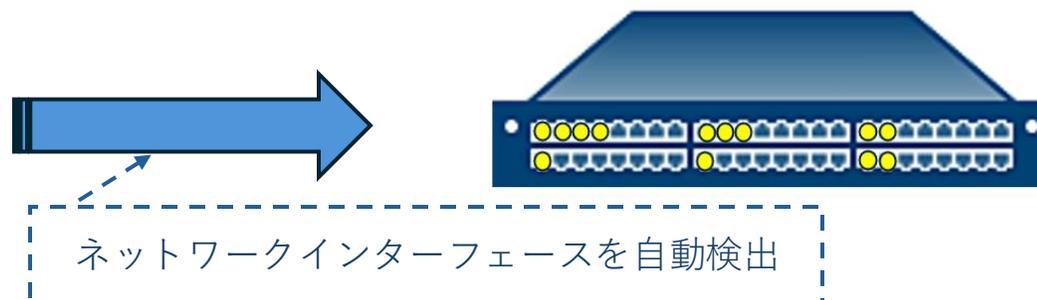
オープンソース監視ソフトウェアである **Zabbix** は、
ネットワークインターフェースを 手動で登録する必要はありません。

ローレベルディスカバリ(LLD)を使うことで監視すべきインターフェースを自動で
検出することができます。

※予め自動検出するための“ディスカバリルール”を作成します。

しかも、定期的に行われるディスカバリ動作の実際の結果に基づいて、使わなくなったインターフェースの監視設定を自動的に削除することも可能です。不要な監視設定がないかを確認したり、手動で削除するという手間を省けます。

ZABBIX

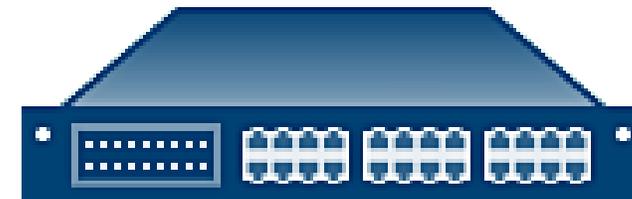


ネットワーク機器を監視する上ではこんな課題も

故障でNW機器の再起動 や 物理ポートのHW交換すると…



監視していたインターフェースの SNMP OIDが変更されてしまう



※OIDの末尾<インデックス番号>が変動

例)

IF-MIB::ifDescr.10001 = STRING: FastEthernet0/1

IF-MIB::ifDescr.10002 = STRING: FastEthernet0/2

IF-MIB::ifDescr.10003 = STRING: FastEthernet0/3

IF-MIB::ifInOctets.10001 = Counter32: 2658522971

IF-MIB::ifInOctets.10002 = Counter32: 4199920098

IF-MIB::ifInOctets.10003 = Counter32: 310645777

最後の数字（赤字）は、特定のIFに割り当てられた番号（**インデックス値**）

機器の再起動や物理交換によりインデックス値の変更が発生

インデックス値まで指定し監視の設定をしている場合、インデックス値が変更されると監視ができなくなってしまう。



監視できてない？

OID 確認！
急いで監視設定を変更し
なきゃ！

毎回これじゃ
シンドイデth…

そんな思いをしなくていいんです！

オープンソース監視ソフトウェアである **Zabbix** は、
インデックス値が変わるたびに 手動で監視設定（OID）を修正する必要はありません。

ダイナミックインデックス を使うことで監視すべきインターフェースのインデックス値
を自動で検出することで、設定変更しないまま正しいOIDで監視できます。

※予めインターフェース名などを自動検出のための定義を設定します。

ZABBIX



設定例)

ifDescr の値が 「 GigabitEthernet0/1 」 である IFのインデックス値を検索して、
ifInOctets の値を取得する

```
ifInOctets["index", "ifDescr", "GigabitEthernet0/1"]
```

インデックス値を自動検出

話は変わりますが、

監視システムからの障害発生アラートに対して、
自分に関係のない不要なアラートまで届いていませんか？

よくある話ですが、

Zabbixでは、障害の重大度やホスト単位、システム単位（ホストグループ）をキーに通知先を分けたりすることが多いかもしれません。

しかし、

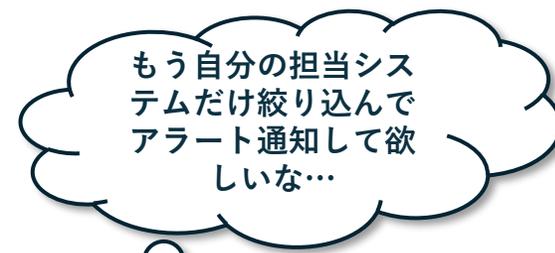
システム単位でホストをグルーピングするとしても、細かく分けすぎると監視システムの管理に手間暇がかかります。



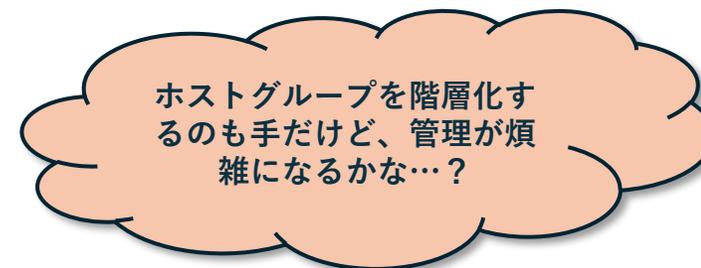
ガンバレー



担当外のアラートも受信している...



もう自分の担当システムだけ絞り込んでアラート通知して欲しいな...



ホストグループを階層化するのも手だけど、管理が煩雑になるかな...?

そんな時は、

Zabbix機能にある タグ をうまく使うと手間が省けます。

- 閾値など障害検知条件の設定画面内に担当者別にタグ（トリガータグ）を設定
- メールなどのアラート通知アクション設定にタグによる発報条件を付け加える

システム範囲の中でも担当者別にアラートを通知でき、必要なアラートだけを受け取ることができるので、担当者は必要なアラートだけを探す手間がなくなります。通知アクションに柔軟性を！

アクション

アクション 実行内容 2

* 名前 Email

計算のタイプ And A and B and C

実行条件	ラベル	名前	アクション
	A	トリガーの深刻度 以上 警告	削除
	B	ホストグループ 等しい NW	削除
	C	タグの値 OOSystem_NW等しい A_Team	削除

[追加](#)



ちなみに、

タグは種類が豊富です。

- 監視テンプレート
- ホスト（監視対象ホスト設定）
- アイテム（監視データ収集設定）
- トリガー（閾値によるアラート発報条件を設定）
- Web シナリオ
- サービス（SLA状況を可視化する上での前提となる設定）



上記のように使えるタグの種類が豊富なため、Zabbix画面上の情報を絞り込む際のフィルターとしても様々な場面で活用することができます。

このように、Zabbixはオープンソースでありながら機能が充実しています。監視ソフトウェアを選ぶ際の参考としていただければ幸いです。

最後に宣伝を…

- Zabbixの構築を委託したい
- 監視項目は標準的なもののみ（特別な監視はしていない）
- 要件ヒアリング後は早く見積を提示して欲しい
- 出来るだけ早く発注したい

といったお客様向けに、予め必要な情報/要件をヒアリングシートにご記載いただくだけで、簡単にお見積りできます。お見積りに時間をかけず、すぐに監視に取り掛かりたいなら

「**Zabbix導入サービスメニュー**」をご用意しております。

ぜひお問い合わせください！

クロス・ヘッド株式会社

ZABBIX

 CROSS HEAD

クロス・ヘッドは Zabbix Japan社の認定パートナーです。

〒108-0075

東京都港区港南1丁目2番70号 品川シーズンテラス24階

TEL:03-4405-7911

<https://www.crosshead.co.jp/>